



PRORIDE

ソロ活動やプロデュース業としてもその才能を発揮している「若旦那」。2014年には自ら主催するイベント「バカヤロ」で、バンド修行を兼ねたワンマンライブを行い、ロックバンドとして新しい「若旦那」のスタイルを示し、ファン層を広げ続けている。2015年も最多の全国22カ所での「絶対に諦めないよ、オレは!! ツアー2015」を開催。そのライブスタイルは日々進化し、とどまる事を知らない。

# Giovanna Wheels

## 若旦那 WAKADANNA

ソロやプロデュース業とマルチな採用を発揮している「若旦那」。現在、MBZ S550を愛車とする彼に、キャデラックSRXの試乗とジオバンナの魅力を堪能してもらい、素直な“クルマ感”を語って頂いた。

Words | 日比野智己 Photos | 林雅人 [Source] キャデラック・シボレー国立 Tel.042-575-2526 www.stg-inc.jp [Special Thanks] BROTHERHOOD Tel.029-305-9755 www.brother-hood.com

クルマに対しては、自分は背伸びするタイプではないです。このクルマを“自分のステータスにする”とかではなくて、今の身分というか背丈にあった選び方をすれば、クルマ、腕時計、女です。男の3種の神器みたいな感じで言われているけど、「いい女と付き合ってる」というクルマに乗って、いい腕時計する。みたいな、そういうのじゃなくて、自分の今にあった物や人を選ぶというのが自分の価値観かな。

初めて乗ったクルマは、ミニカという軽自動車でした。歌い始めた頃からしばらく乗っていましたが、おふくろが乗っていたヤツを買ったんだけど、10年モノみたいな感じでポロポロになるまで乗ってましたね。次に乗ったのがワゴンRで、これもオヤジがいなくなったヤツで、ポロポロだったな。その後は、ニッサン・ムラーノ。もう、この頃は金持ってたんで、8、9年前だったかな。で、その後はアルファードに乗って、次にハイエース。ハイエースに関しては、機材車だった。でも、いい加減直角のシートが嫌になってね。で、ベンツに乗り換えました。

ベンツを選んだのは、ポピュラー車だったからです。外車の一発目だったんで、腕時計だったと、とりあえずロレックス買いたいな感じで、ベンツって感じなんです。まだ1年ぐらいですけどね。ベンツに乗り換えてから、

ホイールを履き替えるのは襟を正す感じかな…。



若旦那のキャデラックに対する印象を変えさせたクロスオーバーモデルのSRX。Gianelle Designのモデル名「BOLOGNA(ブラック)」の24インチをセットしている。ちなみに試乗車はノーマルモデル。



CADILLAC SRX  
Gianelle Design BOLOGNA

ほとんどクルマで移動するようになりまして。それまでは、原付とか自転車だったんですよ。だから、クルマで移動することは凄く増えましたね。

今回試乗したSRXだけでなく、キャデラックというブランドが成功者のクルマとか、成功の象徴というイメージがありましたね。海外に住んでいたことが多く、向こうではキャデラックはすごく人気があったんですよ。日本ではベンツとかBMWなんだけど、アメリカにいた時はやっぱりVIPのクルマといえは「キャデラック」って感じだったよね。だから、スゲえいいなあって思ってたね。アメリカに行ったら時は、レンタカーはキャデラックを借りてたぐらいです。

SRXに乗って、キャデラックに対しての印象が変わりましたね。デカ箱のイメージがあったんだけど、今回乗ったSRXは街乗り用だあって。細い道も走ったし、駐車場で切り返したかもわざとやってみただけで、難しい車入れとかもやって……。ぜんぜん細かい車入れとかもできましてね。それと周りの反響が凄かったです。「ヤバイの乗ってますね？」って、なんか自分がお洒落の極みみたいな感じで、みんな褒めて頂きました。「旦那さんって、やっぱりお洒落だな」って。「試乗車です」って言いづらくなりましたよ。このSRXを積極的に楽し

みましたね。こういうSUUVは女の子が好きなんだよね。ファミリー的なのか、いい人っぽく見えるのか、とにかく女の子ウケは良かった。

キャデラックという成功とか王者の風格というイメージがあったけど、このSRXに乗って意外にシティブで、若者っぽさを感じましたね。お台場のレインボーブリッジが似合うクルマだなんて。2週間乗って、ちよう

ど乗り馴れたところだったから、そろそろ事故を起こしてもおかしくない頃だったけど。

今回、ベンツのホイールをジオバンナに履き替えただけで、クルマのホイールを履き替えることは、襟を正す感じに似ているかな……。自分は、ギラギラでいかにも金持ちです、みたいなスタイルは好みじゃないから、こんな自然な感じのドレスアップが好きたよね。

MERCEDES-BENZ S550  
Giovanna DRAMUNO



メルセデスS550は、若旦那の愛車。これまではノーマルのままで乗っていたが、今回の取材で、Giovanna DRAMUNO(シルバー/マシニードフェイス)の22インチ・ホイールを新調し、納車となった。



2015.8.5 Release!!

WAKADANNA 4

若旦那  
New Album  
WAKADANNA 4  
～男はつらいよ、泣いてたまるか～

¥3000+税 TKCA-74250